

内科 I に通院中の患者さん（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 気管支鏡検体による組織型診断の妥当性についての検討

[研究機関] 北海道大学病院 内科 I

[研究責任者] 品川 尚文 （内科 I ・講師）

[研究の目的]

近年、非小細胞肺癌の化学療法において、組織型によって効果が異なる薬剤の報告がなされ、組織型が治療方針の決定に重要になってきました。一方で気管支鏡検体のような微小検体で組織型を推定することは難しいとされています。当科ではこれまで気管支鏡検査の改良に積極的に取り組み、高い診断率を得てきました。今回、当科で気管支腔内超音波断層法(EBUS)を用いて肺癌と診断され、その後に手術を行った方を対象に、気管支鏡による組織型がどの程度、最終的な診断と一致しているかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2003 年 8 月から 2011 年 12 月に当科にて肺末梢病変に対して EBUS-GS を施行し原発性肺癌と診断され、その後に当院呼吸器外科にて手術を行った方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（胸部 C T、胸部 X 線写真）、気管支鏡検査の結果（病理組織、細胞診、EBUS の画像所見、検査時間）、気管支鏡による診断名、最終診断名

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 I 担当医師 品川 尚文

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899